

2020 年度 小委員会活動成果報告

(2021 年 1 月 18 日作成)

小委員会名	建築プログラミング小委員会	主 査 名：柳父行二 就任年月：2017 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会	委員長名：野城智成
設 置 期 間	2017 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>施設の企画・計画における「建築プログラミング」(具体的な施設の設計・デザインを決める前提となる諸条件を抽出・整理していく活動)についてその方法論と効果について調査研究を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初年度：文書作成、著作の検討、プログラミングの活動事例や経験をまとめる。 ・2年度：事例調査の継続。建築プログラミング活動プロセスおよび主体・情報・価値連鎖のモデル化。 ・3年度：公開研究会の企画、準備。 ・4年度：公開研究会の実施、資料集の刊行。建築プログラミング教科書の企画。 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし	
	主査：柳父行二(セカンドカード研究処) 幹事：柳澤要(千葉大学)、柳沢和彦(武庫川女子大学) 委員：安藤亨(三重県)、井上誠(宮城大学)、木曾久美子(日建設計総研)、児玉達朗(東電不動産)、末廣健一(山陽学園大学)、山田哲弥(清水建設)	
設置 WG (WG 名：目的)	建築プログラミングの展開WG ・小委員会と同時開催し、公開研究会の企画、実施、資料作成などの作業を担当する。 ・調査結果の分析・モデル化などの個別の研究テーマについて、自主的に活動する。	
2020 年度予算	65,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keizai/prg/

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	2021 年 3 月 16 日開催予定の建築社会システム委員会主催 PD (発注者の熱意と知識がプロジェクトにもたらす影響) で、公開研究会並びに追加取材の成果と、委員手持ちの施設活用シナリオ構築に入り込むプログラミング実態を紹介予定 参加者数 名
大会研究集会	1. (名称) 参加者数 名 (資料名)
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 先行研究照合で抽出された未解明課題が多く、委員手持ち事例のプロセスと価値の照合分析から仕切り直すことに方針修正 2. 公開研究会を検討し始めたが、キーとなる委員が多忙のため中断中 建築社会システム主催 PD (3 月 16 日実施予定) を準備中
委員会活動の問題点・課題	1. 発注者の業務シナリオ関連情報の守秘の壁 2. 言語・文化の違いを解消するための交流機会不足